

# 村長村政報告

（紙面の都合で、内容は省略してあります。）

## 市町村合併

飯館村・小高町・鹿島町・原町市の4市町村による南相馬合併協議会が、今まで2回開かれ、①合併協定項目を50項目とすること②合併の方式は新設合併、いわゆる対等合併とすること③新市建設計画の策定方針の3項目を決め、「新市の名称に



▲平成16年度村民のつどい

ついて」など8項目を3つの小委員会に付託しました。

今後、平成17年3月の県知事への申請に向け、協議が進められることになります。

村としては、新市構想の基本理念である「分権、分散型合併」を実現すべく、協議に臨む考えです。

## 新春村民のつどい

1月18日に公民館で開催し、村の10大ニュースでは「合併問題」がトップニュースに選ばれ、以下2位「ふくしま駅伝2年ぶりの優勝」、3位「異常低温による冷害」でした。

今回は、15年分の10大ニュースを冊子にまとめ全戸配布したので、15年間の村の出来事を振り返り、主なニュースの紹介

をしました。

クオリティ・ライフ顕彰事業では、「すてきな田舎暮らし」をしている5組の顕彰をしました。

## 第5次総

6つの専門部会での検討結果がまとまったので、3月中旬頃審議会に諮り、6月議会に提案します。



▲専門部会検討報告会

## 農業

今年1月、福島農林統計情報事務所より、平成14年の市町村別生産農業

所得が発表されました。

村の農業産出額は37億5千万円。前年比金額で1億3千万円増加。県内順位は20位と変わりませんが、農家一戸当りの生産所得は118万9千円で、前年の27位から21位に上がっています。

主な産出額では、米が8億3千万円、肉用牛が5億8千万円、葉たばこ4億2千万円、野菜が3億円、花卉1億5千万円となっています。特に、肉用牛が国内のBSE問題が解決したこともあり1億円以上伸びています。

## 米政策改革

「米を作っても良い」とされる「米の生産目標数量」と、今までの転作奨励金に変わる「産地づくり交付金」の（案）が、昨年末に県から提示されました。

まず、生産目標数量ですが、村の平均反収として

過去7年間の平均を、10ア当たり490キロとして計算されています。

これによると、生産目標数量は全体で4284トになり、面積に換算すると874・3アが作付け可能となります。これは15年の作付け面積より、約110ア多く米作りをしても良い数量になります。

また、産地づくり交付金がありますが、金額で約1億1、200万円の提示を受けています。

これらについて、1月の新年早々に行われた村の「水田農業推進協議会」において協議しています。その後、村と農協が20行政区で「新たな米政策」の説明会を実施し、各農家から提出された「水田作付け計画」の集計によると、新たに水稲の作付けを増やしたいとする面積は約25アにとどまっています。

## 畜産

全国的に子牛・枝肉相場が高騰。今年度の県家畜市場子牛取引価格を見ると、去勢、雌の合計5808頭で1頭平均価格が43万2、339円と、今までにない高値取引となっています。

## 振興公社

3月5日に理事会が開催され、15年1月までの業務報告がされました。



▲好調な牛肉販売

肥育事業は、国内でのBSE発生で牛肉の在庫不足と、アメリカでのBSE発生による輸入禁止のため、枝肉価格が高騰。

1月までの1頭当たりの平均販売価格が92万9、833円となっています。受精卵移植事業は、移植件数173頭、採卵回数66回、受胎率は52・6%と高い受胎の状況です。ほんの森事業は、対前年比99・7%の売上であり、僅かですが減少しているようです。

## 商業

雇用の場確保については、一昨年のエヌイーティの操業に続いて、昨年夏には深谷の「オータム」あとに「福進ソーイング」、そして今年1月には有限会社「マディ」が飯館産業跡地に操業を開始し、若干就労の場が増えていますが、各社とも従業員の数は数名程度

と少なく、今後の採用を期待しています。

更に、新規制度の保証料の助成制度は好評で、当初予想額を大きく上回っています。

次に、飯館楽園の経営状況は、昨年夏のきこり増築により多人数での利用が増えてきていますが、全体的には冬期間に入ったこともあり、大きな伸びには結びついていません。

また、ステーキハウスについても週末、祝祭日以外の平日の利用が伸びず、対応に苦慮しています。

## 税

昨年の、冷害による被災者等に対する村税等の減免状況は、村民税が34件、国民健康保険税が66件、介護保険料が122件、金額の合計で50万1、200円を減免しました。



▲冷害対策が話し合われた冷害対策本部会議

減免の実世帯数は93世帯で、農作物の損失額が3割に満たなかった等のため、41世帯が減免対象になりませんでした。

## ごみ処理

ごみの減量と再資源化を図るため、容器包装リサイクル法に基づき、プラスチック製容器包装のリサイクル制度をスタートさせました。参加できる方は、村が婦人会の協力を得て開催する「ごみダイエットマスター養成塾」に参加し、認定を受けた方です。2月末現在

の認定者数は、139人で、適切な分別回収に努めていただいています。村では認定者を増やすため、引き続き村内全域で養成塾を開きたいと考えています。



▲ごみダイエットマスター養成講習会

## 「健康づくり計画」

国の「健康日本21」及び「すこやか親子21」計画を受け、1年間検討してきました。

基本理念を「一人ひとりの命を、ままでに輝かせる村づくり」とし、母子、成人、高齢者、精神

の4つの柱を基本に各々の事業展開を図っていくことにしています。期間は、平成16年から20年までの5カ年間で。

## やまゆり保育所

今年4月より認可保育所として再スタートすべく施設基準、保育士等の職員体制など、県との事前協議を行いながら準備を進めています。

## 道路整備

芦原トンネル（仮称は、既に本格的なトンネル本体の掘削工事を施工中、



▲小学生対象のトンネル見学会

現在、約300m地点まで進んでいます。

村道佐須大倉線の改良整備は、平成15年度より県代行業業による整備が決定され、現在県営事業として実施されています。

また、村道深谷飯樋線、大火比曾線は二次改築工事として現在鋭意実施中です。

## 公営住宅

笠石団地は、平成15年度施工分の4棟8戸が完了し、団地内建設計画戸数20戸を達成しています。



▲建設された笠石住宅

## 教育

若者向村営住宅の建設は、更に深谷地区の単身者用敷地内に1棟6戸建設する計画です。

第4回こども議会が1月22日に開かれ、今回は市町村合併問題についての提言も出されました。



▲こども議会のようす

飯樋小南校舎改築は予定通り竣工し、4月からは新しい校舎で新学期がスタートできる運びとなっています。また、北・西校舎の改修工事も、今年

の秋頃までには竣工予定です。

## 公民館事業

1月11日、成人式が行われ、新成人102人が、大人の仲間入りをしました。

わが家の10大ニュースには、31件の保管依頼がありました。

子育て学習県民講座及び家庭教育学級を昨年の6月から2月まで延べ9回開催してきました。

また、子育て不安や育児に悩む親への支援や将来親となる若い世代育成を目的に、「子育てサポート・養成研修会」を開催。高校生から成人まで10人参加し、11回の研修を行いました。

家族映画祭は、21世紀記念事業として、平成13年度から本年度まで県地域づくりサポート補助事業を受け、3年間で12本の映画を上映しました。

## 総合型地域スポーツクラブ

住民の健康と体力の増進を図るため、「だれもが・いつでも・気軽に」スポーツをすることができ、環境づくりを目的に協議してきた「総合型地域スポーツクラブ」設立総会が、3月6日に村・県・関係機関が出席し開かれました。

クラブ名を公募により、「いいたていきいきクラブ」に決め、今後、スポーツのみならず、文化部門も取り入れ、多くの村民の方が参加できる、クラブを目指します。



▲平成16年度成人式